

農林水産分野連携・共通施策の基本方向について

社会・経済状況が大きく変化する中であって、島根の農林水産業・農山漁村の持続的な発展を目指すためには、価値観の多様化、「食」や「環境」問題への対応など、農業、林業、水産業の各分野の枠を越えた、1次産業全体で総合的に対応する視点が必要である。

このため、当面の戦略として、「食」に関する安全・安心を提供する仕組みづくりを進め、これをベースにした地域産品のブランド化に取り組む。また、こうした地域資源を守り、育てていくためには、消費者や生産者、関連事業者等が緊密に連携する関係を築き、県民が一体となって取り組むことが必要であることから、その体制整備についても並行して推進する。

1 県民の「安心」と「誇り」の実現

消費者の食の安全に対する信頼を回復し、安心して県内産の農林水産物を購入できるよう、県が中心となって安全な産品を認証する制度を創設するなど、生産段階での安全確保と消費者自身が安全を確認できる仕組み等の構築を推進する。

また、多くの消費者は、食料、木材の安定供給や水源涵養、文化伝承といった農林水産業や農山漁村の多面的機能を知る機会が少ないのが現状であることから、農林水産業と農山漁村の役割について、県民一人ひとりが再認識し、関心を持ち、社会全体で守り育む気運と誇りの醸成を図る。

【主な取組内容】

- 「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の運用とPR活動
- 小売店等での生産履歴開示など消費者への情報提供の仕組みづくり
- 対象を明確にした普及啓発活動による農林水産サポーターづくり

2 消費者に買ってもらえる商品づくり

(1) 多様な流通・販売の促進

地産地消や生産者と流通関係者とのマッチング、大都市圏での販売チャネルの開拓等を推進し、県内外の流通・販売体制の強化を進める。また、台湾を中心とした東アジアへの輸出拡大を図るため、輸出に取り組む企業・団体で「しまね食品輸出コンソーシアム」を設立するとともに、観光分野との一体的売り込みなどにより輸出産品の商品力向上を図る。

【主な取組内容】

- 県内産品の県内小売店等への供給量の拡大
- 県内外における異業種交流の場づくり、県産品のファンづくりの推進
- 観光分野や地域産業との連携等による輸出産品の商品力の向上

(2) 地域ブランドの確立

地域の特色ある多彩な産品について、農林水産業関係者が販路拡大やPRなど一体的に取り組みを展開するとともに、流通の一元化や観光産業との連携を強化し、地域団体商標の登録など地域ブランドの確立を進める。

【主な取組内容】

- 消費者等ニーズ調査に基づく販売戦略構築やPR・販促活動の一体的実施
- 地域団体商標の登録

3 環境保全と多面的機能の維持増進

農山漁村は、過疎・高齢化の進展により地域を守る担い手が不足し、荒廃森林や耕作放棄地の増加など環境の悪化が懸念されていることから、地域や県民等との協働により、森林・農地・海をつなぐ水系の保全活動を推進し、農山漁村の有する多面的な機能の維持・保全を図る。

【主な取組内容】

- 海浜清掃や植栽・間伐材利用など地域、関係者一体となった保全活動の推進